

## オオヨドカワゴロモを守る 清掃活動を実施

1月20日、平成28年3月に国指定天然記念物に指定された「オオヨドカワゴロモ」の自生地である岩瀬川の清掃活動を行いました。土木関係者、小林高校の生徒や市民有志ら約60人が参加。参加者は、オオヨドカワゴロモの生態や表面のゴミのとり方を学びながら清掃しました。



ほうきやブラシを使って、オオヨドカワゴロモの表面をこする参加者。滑りやすい足場に気を付けながら清掃を行いました



同協議会吉村秀昭会長は「多くの人に参加してもらえてうれしい。活動の輪を広げてさらに地域を盛り上げたい」と話していました

## 南校区で15年ぶりに復活 おねっこ祭りを開催

1月13日、おねっこ祭り（南校区まちづくり協議会主催）が開催されました。南校区での開催は15年ぶりで、約300人が来場。10尺の高さに組まれた竹にしめ縄や門松を装飾し、点火すると大きな音とともに激しく燃え上がりました。その後、竹に刺した餅を残り火で焼いて食べ、無病息災を祈りました。



土俵際の熱戦に会場は大盛り上がりです！



「さまざまな祭りを開催し、地域のみんなで協働して、交流人口の増加を目指します！」

小林市まちづくり協議会  
永田 博成 部長

## 取り組みを紹介します

### きずな協働体 今月は、須木地区

#### 須木をお祭りで盛り上げます！

本年度4月から新しくイベント部会を設置しています。毎年、5月の「滝まつり」、8月の「すき納涼花火大会」、9月の「栗まつり」、11月の「ほぜまつり」の4つのお祭りを中心に活動しています。五穀豊穡を祝うほぜまつりでは、伝統のほぜっこ相撲が少子化の影響で参加者が減っていま

すが、近年はえびの市からのチームが参戦し、会場を熱気に包んでくれています。赤ちゃんの健やかな成長を祈った土俵入りも毎年たくさんの参加をいただいています。来年も、楽しんでいただけるようなお祭りを企画しますのでたくさんのご来場お待ちしております。

## 小林産の美味しいものタップリ 地井シェフと新商品に挑戦

12月15日、小林市・食と農の魅力創生シェフである地井潤シェフを講師に、小林シュトーレン・ワークショップが開かれました。シュトーレンとは、クリスマスに食べられるドイツの伝統菓子。参加者は、小林産のドライフルーツやワインを使用した新たな小林名物作りに取り組みました。



会場となった宮崎県農業試験場 葉草・地域作物センターに、地元生産者や加工業者など14人が集まりました



左から前田さんと崎山さん。2人は、11月に開催された九州大会にも出場し、見事、優良賞を獲得しました。

## 木工の技術を競う大会で 須木中生徒2人が好成績

10月に開催された、木工チャレンジコンテスト宮崎大会で須木中学校の前田樹里さん（3年）が優勝、崎山大樹さん（2年）が3位になりました。前田さんは「昨年のリベンジを果たし、優勝できてうれしい」、崎山さんは「練習よりもいい作品ができて良かった」と話していました。

## てなんど小林プロジェクト 写真コンテスト表彰式を開催

1月13日、てなんど小林プロジェクト第4回写真コンテストの表彰式をKITTO小林で開催しました。今回のテーマは、「小林の夏」で、応募総数は87点。村岡宏樹さん（＝鹿児島市）が最優秀賞、大出水正さん（＝南西方）が優秀賞と入選、山田宏作さん（霧島市）が入選を獲得しました。



左から山田さん、大出水さん、村岡さんと肥後市長。コンテストの結果はてなんど小林特設サイトでも確認できます



一斉放水をする団員ら。現在、男女問わず団員を募集しているので興味のある人は危機管理課（Tel 23-1175）まで

## 火災ゼロや地域安全誓う 消防出初式を開催

1月7日、新春恒例の消防出初式が消防訓練広場で行われました。西諸広域消防本部の職員や消防団員、地域住民など約500人が参加。通常点検や分列行進、消防功労者への表彰、一斉放水などが行われ、団員らは新年を迎え気持ちを新たに火災ゼロや地域の安全を誓いました。

## 区長会が市内3高校に寄付

12月18日、小林市区長会が体育・文化振興のために市内3高校（小林高校、小林秀峰高校、小林西高校）へ寄付を行いました。倉田富夫会長は「健全な子どもたちの育成のために活用してほしい」と話していました。



## 小林ハンドスポ少が九州大会出場

12月14日、小林ハンドボールスポーツ少年団が九州大会出場を市長に報告しました。10月に開催された県大会で優勝し、出場権を獲得。九州大会は、12月24日に宮崎市総合体育館で開催され、結果は接戦の末、1回戦敗退でした。



## 新たに人権擁護委員を2人に委嘱

1月1日付で、人権擁護委員として、池脇築造さんと楠元充子さんが法務大臣から委嘱されました。任期は平成32年12月31日まで。毎月「人権・行政・なやみごと相談」を開催しています。相談日は毎月1日号（27頁参照）に掲載しています。



## 吉都線子育て応援列車を運行

12月24日、吉都線子育て応援列車が運行されました。約40人が参加し、吉都線に乗車。その後、TENAMUビルの2階交流スペースで絵本の読み聞かせや観光列車やSLのパネルの展示などを行い、参加者は交流を深めました。



## 市内スポーツ少年団453人が交流

1月14日、第36回スポーツ少年団の集いが総合運動公園陸上競技場で開催されました。市内のスポーツ少年団の団員ら453人が参加。男女各学年ごとのロードレースなどを行い、子どもたちは交流を深めました。



## 新春山麓路ロードレース大会を開催

1月3日、新春山麓路ロードレース大会が開催されました。山麓ランニングクラブ主催で毎年開催され、今年で43回目。北西方の入佐公園を出発し、1キロから5キロのコースを小学生から一般までの選手らが駆け抜け、健脚を競い合いました。



## アニメやスライドで税について学習

租税教室を西小林小学校と南小学校で行いました。税務課職員がアニメやスライドで税の仕組みを解説。学校の机や椅子も税金で購入していることなどを説明し、児童らは、暮らしの中で税金がどのように使われているのかを学びました。



## 政治や選挙について若者の意見発表

1月17日、平成30年わけもんの主張西諸大会が文化会館で開催されました。2市1町から4人、市からは大熊怜那さんと堂原雄平さんの2人が出場。出場者は、日本の政治や選挙について、若者ならではの意見を発表しました。

